

きだこうへい市政報告 vol. 7

令和元年10月

福山市議会議員 喜田紘平 第7回市政報告



38歳

市議会議員就任から3年半が経過し、今任期もあと半年となりました。6月議会定例会・本会議では通算8度目、9月議会定例会・本会議では通算9度目の一般質問の機会をいただきました。教育課題・子育て課題を中心に、日々さまざまな行政課題を市長・教育長を始め、市職員と議論しています。本市は、まだまだ多くの市政課題を抱えています。それらの課題を1つ1つ着実に解決できるよう、これからも引き続き取り組んでまいります。

この度、私の市議会議員としての活動をまとめました『きだこうへい市政報告』第7号が出来上がりましたので、配信させていただきます。ぜひ一読いただければ幸いです。残りの任期も引き続き、皆様から変わらぬご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

喜田 紘平



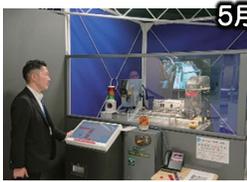
2月

「発達障害の子どもの進学」と題した講演。子どもたちが孤立しないよう、保護者の不安が少しでも和らぐよう、引き続き行政との架け橋となっていきます。



3月

今年もふくやまマラソンへ参加。例年通り、余裕の3キロへのエントリー！のはずが…、今回は風邪で体調不良の中、へろへろになりながらのゴールでした…。



5月

視察で、東京都の「科学技術館」へ。福山はこういった科学館のような、子どもたちの知的好奇心を満たす施設が非常に少なく限られているのが現状。これからの課題ではないでしょうか。



6月

危機管理防災課と連携した、避難所運営のための勉強会を開催。昨年7月に発生した豪雨災害から一年。いつ起きるか分からない自然災害への防災対策の一環として勉強。今後活かしたいと思えます。



7月

「夏の交通安全運動」の応援に。子どもたちの命を交通事故から守ることが重要であるにも関わらず、依然として特に通学路において、子どもたちが危険に。私自身も交通安全に対する意識を高めていきます。



7月

2学期から、一部の小中学校で空調設備が運用開始。夏の酷暑が続く近年、子どもたちの命の安全はもちろんのこと、安心して学習ができる環境整備に繋がる空調設備の設置は、本当に早期に望んでいます。



7月

中四国初の電動キックボードの実証実験！私が視察で訪れたイスラエルで、視察の合間に体験し、その便利さに大きな魅力を感じ、6月議会にて提案を行い、今回の実証実験の実現へと繋がりました。



7月

関東への視察。障害のある方の相談支援に始まり、居住支援、就労支援など、様々な多岐に渡る支援がワンストップに近い形で実現されており、福山での実現のイメージを持たせて頂きました。



8月

議会報告会を開催。議会に対して沢山のご意見やご要望を頂きました。それらの貴重な声を様々な活動に活かしてまいります。お忙しい中、ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

日々の活動

この度、私のホームページ内に『福山目安箱』というものを設置しました。これは「議員に対して意見するのは気が引ける」とか、「議員と話をするのはとても敷居が高い」といったご意見を、色々な方々からお聞きをし、そのお声を受け設置をさせていただきました。

この福山目安箱は、お名前もご連絡先もご入力なしで、皆様が思われる感じられることを、お気軽に声に上げられるよう仕組みを作りました。

『福山目安箱』

福山に暮らしていて困っている事、改善してほしい事、もっとこうすれば福山の街が良くなる事…などをお聞かせ下さい！！



お名前・ご連絡先の入力は必要ありません。

皆様お一人お一人のお声をお聞かせいただけたら大変嬉しいです。

～令和元年度 福山市議会本会議 6月定例会 きだこうへいによる一般質問～

掲載は一部抜粋となっておりますので、6月の一般質問の全内容は私のホームページ内の「福山市議会一般質問」のページにて映像をぜひご覧ください。

1 歩きタバコに対する防止策について

質疑

Q 受動喫煙防止への観点や、たばこの火種による火傷等の事故への防止への観点からも、歩きタバコの禁止が必要だと感じると共に、大人が吸う歩きタバコの火種は子ども子どもの顔の位置、特に目の付近にあり、**事故があってからでは遅く**、早期対応を求め問い質しました。（一部抜粋）※この案件は、決して「禁煙してほしい」と提言したいわけではなく、子どもたちの安心安全な居場所作りのために、特に中心市街地など人通りの多い所では「歩きタバコはやめてほしい」という事を提言をしたく、質問しました。

A それに対して市長から「**今年度中の条例改正**に向けて取り組んでいく。」という大変力強いご答弁を、議会本会議という場でいただけ、子どもたちにとって安心安全なまちづくりの実現に向けて、大変有り難いご答弁だと感じています。（一部抜粋）

市長のご答弁を受け、早期の実現に向けて引き続き取り組んでいきます。

3 ひきこもり支援について

質疑

Q 内閣府が平成27年度に実施した調査において15歳～39歳の「**若年ひきこもり**」は54万1000人と、また今年同じく内閣府は、**40歳～64歳のひきこもり状態の人が、全国に61万3000人**いるとそれぞれ推計を公表しました。本市においても、現在ひきこもり状態にあり、悩んだり苦しんだりしている当事者の方々や、またその当事者の方々を支えておられる保護者の方々が多くいます。

本市として今後更に支援体制を強化してもらおうべく、問い質しました。（一部抜粋）

A それに対して市長から「本市のひきこもり状態にある方は、概ね4,000人程度と見込まれる。ワンストップで一元的に相談を受ける窓口がないことが課題であり、**早急に設置**に向けて検討する。今後より一層、関係機関で情報共有し、連携強化を図っていく」と大変力強いご答弁をいただきました。（一部抜粋）

市長のご答弁を受け、早期のワンストップでの一元的な窓口設置を要望し、更に、「当事者や家族を孤立させない、自助グループや家族会などのグループ支援体制の強化」、「民間の支援団体の把握と更なる連携強化や、支援団体へのバックアップ体制の構築」などを要望しました。

2 公共施設へのフリー Wi-Fi 導入について

質疑

Q 本市は多くの公共施設を抱えていますが、フリーWi-Fiを導入していない施設が多いのが現状です。災害時におけるライフライン確保の観点から、また、教育環境の充実など、市民満足度の向上への観点からも、**公共施設へのフリーWi-Fi導入を進めるべき**であり、こういった施設へ早期に導入を進めていただきたいと考え問い質しました。（一部抜粋）

A それに対して市長から「Wi-Fiは、観光推進にとっても、重要なインフラとなっているだけでなく、災害時の情報伝達・情報収集においても有効な手段の1つであると考えている。**今後フリーWi-Fiの導入・拡大に向け、検討していく**」という前向きなご答弁をいただきました。（一部抜粋）

市長のご答弁を受け、災害はいつ起きるか予測できないことであることを踏まえつつ、また学習環境の充実のためにも、早期に導入していただくよう更なる要望をしました。

4 子どもへの情報モラル教育について

質疑

Q 今年年々スマホの利用率は上がり、また低年齢化してきています。今後スマホは、子どもたちにとって避けては通れないツールになってきており、**携帯電話やスマホ、SNS等が関係したトラブル**は年々増加しているのではと危惧しています。子どもたちへの情報モラル教育を更に充実したものにすべく問い質しました。（一部抜粋）

A それに対して教育長から「情報化社会を生きる児童生徒には、情報モラルの必要性や、情報に対する責任、望ましい情報化社会の創造に参画しようとする態度を、**発達段階に応じて身に付けさせていくことが必要**である」とご答弁をいただきました。（一部抜粋）

教育長のご答弁を受け、子どもたちが、何か大きな事件・事案に巻き込まれる前に、対策を組んでいく必要があり、教育現場での情報モラル教育に関する、対児童生徒、対保護者、対教職員への更なる研修体制の充実を要望。また現在は、わずか2歳の段階で、46.6%の子どもたちがインターネットを利用しており、今後は、保育園や幼稚園でも情報モラル教育が必要不可欠であり、未就学の子どもたちや保護者の方への研修、学びの場の必要性を提言しました。

